

令和5年度 岩手県立不来方高等学校 教職員働き方改革アクションプラン

現 状

【R4年度不来方高校実績】

- 時間外在校等時間
 - ・月100時間以上 ⇒ ゼロ
 - ・月45時間以上 ⇒ のべ 291人(36%)
 - ・月80～100時間以上 ⇒ のべ 54人(7%)
 - ・年360時間以上 ⇒ 50人(75%)
- 年次休暇取得(平均/年1人あたり) ⇒ 13.7 日

目 標

- 時間外在校等時間 月100時間以上 ⇒ **0人**
- 時間外在校等時間 月80時間以上 ⇒ **3%未満**
- 18時までに退勤 ⇒ **週1日以上**

目 指 す 姿

- 教職員が日々いきいきと業務にあたり、情熱をもって生徒に向き合うことができている。
- 教職員が健康で豊かな生活を送るために、各々がライフワークバランスを実現できている。
- 何でも相談できる風通しのよい職場で、互いにフォローし合いながら業務を推進している。

目標・目指す姿を達成するための取組

《教職員の心身の健康増進》

- ☐ 「健康第一」の意識を持ち、一人ひとりが自己の健康管理に取り組む機運の醸成を図る。
- ☐ メンタルヘルスや健康相談事業に関する情報提供を行うとともに共済保健事業の活用を促進する。
- ☐ 年次休暇の取得を奨励するなど、リフレッシュする機会を拡大し、心身の健康を保持増進に取り組む。
- ☐ 日常のコミュニケーションを重視し、明るく助け合う雰囲気づくりに全員が参画する。

《業務改善・負担軽減》

- ☐ 副担任2人制の実施により、1人に業務が偏ることなく、協力体制のもと教育活動を推進する。
- ☐ 生徒指導・教育相談等の業務において、積極的に外部関係機関との連携を図る。
- ☐ 部活動に関する方針により、効率的な活動を実践するとともに、休養日・活動時間を遵守する。
- ☐ ポストコロナを見据えた行事や業務の精選及び留守番電話設定変更など、負担軽減のための改善を進める。

《参考》「岩手県教職員働き方改革プラン(2021-2023)」※抜粋

【プラン策定の趣旨】働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育持続的提供につなげる。

【プランの目標】◆目標1 県立学校の教員の時間外在校時間の縮減

(1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。

(2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間除く)について、令和5年度は、月45時間超の者、年360時間超の者、いずれもゼロにする。

◆目標2 業務への充実感や健康面での安心感の向上

令和5年度において、調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上する。

